

## さんぽ保健師コラム

(2024年 水無月号)

はいたい！産業保健専門職(保健師)の千葉です。

新年度がはじまって3か月目に入りましたね。6月は新年度の忙しさが少し落ち着き、逆に疲れが出やすい時期と言われています。特に新入社員の場合は、「会社に行きたくなくなる」「周囲とコミュニケーションを取らなくなる」など気持ちが不安定になりやすい時期でもあり、過去3年間で入社後3ヶ月以内に離職した新卒新入社員がいた企業の割合は半数以上という調査結果もあります(株式会社インターメスティック2019年調査)。

「みなさんは、今働いている会社(組織)にたいして愛着がありますか？」

離職の予防として重要視されているのが、社員の「エンゲージメント」を向上させる取り組みです。「エンゲージメント」とは、社員の会社に対する愛着や思いやりを表す言葉で、エンゲージメントが高い企業は、離職率の低下や働きがいのある職場など良い面がたくさんあることが分かっています。

エンゲージメントが高いとは、個人のモチベーションが高い状況とは違い、会社やチームの人たちとの関係から仕事に対するやる気が自然と湧いてくる状況のことです。

エンゲージメントを高める職場の取り組みとして重要なのが、このチーム力を高めること。社員研修や朝礼、会議などでコミュニケーションを図りながらチーム力を高める工夫をする会社も少しずつ増えてきています。研修や会議の本題に入る前に場を温める「アイスブレイク」は、緊張をほぐし、上司や部下など様々な立場の人たちが安心して発言できる下地を作ってくれます。

例えば、自己紹介の際にただ名前を言うだけでなく、「自分の名前の由来」をシェアすることで、いつも名字や役職で呼び合っている間柄から、もう一歩相手の背景に触れることで、信頼関係が深まるきっかけとなります。また、チームで行うアイスブレイクとして、伝言ゲームを言葉ではなく、ジェスチャーや絵に描いて行い、チームで競争する方法もコミュニケーションやチームワークのスキルが身につく方法です。(参考:ワークショップのアイデア帳・ワークショップ探検部著)

某会社の事例で、月に1回の社内ミーティングで会議の前にチームメンバーの良いところ・褒めポイントを付箋等を書いてその人に渡すという取り組みをしている会社がありました。自分以外の全員を書くことがポイントで、全員がもらえることが重要です。普段からお互いの良いところを見つける意識が高まると共に、自己肯定感が高まること、チーム力の向上やエンゲージメントを高める素敵な取り組みだと思いました。

(沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋)